

3. 指導の重点

自分の良さを見つけ、自慢づくり・自慢さがしの具体化

道徳教育・人権尊重の教育の推進

「人間尊重の精神を培い、思いやりと豊かな心を育てる」

道徳の時間だけでなく、すべての教育活動の場面に人権教育を中心とした実践を組み入れる。

差別や偏見のない社会を築いていく実践的な指導と支援に努める。

学級活動の充実

「協力・協業・協働により、生徒相互のふれ合いの心を育む」

生徒が自慢できる学級をそれぞれ創る。

生徒が喜んで活動できる学級づくりに努め、工夫・改善・充実をはかる。

学級がすべての活動の基盤となるので、良好な人間関係づくりに努め、その日のうちに問題や課題を解決できるよう速やかな支援を行う。

教科指導の充実

「学習意欲を高め、基礎基本の学習内容の定着を図る」

楽しく、わかる授業を展開する。

主体的な学習態度への支援体制づくりを確立させる。

個に応じた指導と支援への工夫と改善に努める。

学校行事の充実

「体験を通して学習する場の設定と工夫」

生徒が感動できる行事を工夫する。

「厳選」よりも「充実」に視点を置く。

「生き方の教育」の実現に向け、地域との協働を推進する。

生活指導の充実

「一人ひとりの生徒理解に努め、心の通い合う指導と支援により、将来の展望をもち、社会の一員としての自覚を高める」

生徒一人ひとりの特性の確認と生き方への支援と指導を実践する。

学級経営の工夫と改善、充実に努める。

生徒の自発的・自治的活動場面の設定と支援に努める。

家庭、地域、関係機関との交流や協働を通して連携に努める。

認め、信じる人間関係を社会全体で育むという認識に立ち、その成長を支援する。

大切な生徒の生命と安全を死守するためのシュミレーションと危機管理能力の向上に努める。

心身の健康の充実

「基本的な生活習慣を身につけさせ、心身のより良い発達を図る」

安全・安心・安定した健康づくりと諸活動の展開と教育環境の整備に努める。

部活動の奨励と支援・指導の充実に努める。

人権・環境・福祉・健康・食・心の教育の推進と支援・指導に努める。

校舎内外の環境美化と教育環境の安全と整備に努める。